

弘前市男女共同参画プラン 2018～2022

～ 一人ひとりが互いを尊重し合い心豊かに暮らせるまち弘前 ～

点検・評価の結果（令和元年度）

（平成30年度の実施事業に関する評価）

■ 基本目標 I すべての人が活躍できる社会の実現に向けて

《成果目標》

項目	現状 (基準年)	進捗 (時点年)	成果目標 (目標年)
市の管理職に占める女性職員の割合	9.5% (2017年)	12.0% (2018年)	12.0% (2022年)
市主催のワーク・ライフ・バランス啓発事業への参加者数	18人 (2016年)	78人 (2018年)	30人 (2022年)
女性活躍推進企業認定数(累計)	4社 (2016年)	42社 (2018年)	60社 (2022年)

《評価の結果》 A: 予定(計画)どおり実施、B: おおむね予定(計画)どおり実施、C: 予定(計画)どおり実施できなかった

平成30年度実施事業	A評価	B評価	C評価
項目数	44	1	0

《懇話会委員からの意見や質疑、及び対応等(○: 意見・質問、●: 対応等)》

＜主な意見と対応等＞

- 一律に目標値に対して現状値が低いために低評価とするのではなく、様々な取組をした結果、前年度比増加や現状維持の数値でも高評価としてもいい事業もあるのではないか。(基本目標Ⅱ・Ⅲ共通)
- 事業によって前年度比で評価できるものは意見のとおり評価を修正した。
- 評価指標の数値の増減と評価の関係性が不明瞭な部分がある。(基本目標Ⅱ・Ⅲ共通)
- 指標の数値と評価の関係性を明確にし、数値に現れない部分などはその旨記載した。
- 再掲の事業について、本掲事業と同じ評価とするのではなく、各施策の方向や重点目標ごとの視点で評価するべきではないか。(基本目標Ⅱ・Ⅲ共通)
- 本掲と同じ評価とせず、施策の方向毎に評価した。
- 母子家庭や父子家庭など様々な家庭環境がある中で「両親」とする記載は適正でないのではないか。
- 指摘のとおり「保護者」という記載に修正した。

＜その他の意見等＞

- 個別事業ごとの評価となったことにより、詳細がつかみやすくなった。
- 保育事業や子育て支援事業が拡充・充実されてきた。多様なライフスタイルを支援していくうえで必要な事業である。
- 病児・病後児保育や夜間・休日などの児童の養護事業は利用者が増えている中で対応していくのも大変だと思う。

■弘前市男女共同参画プラン2018～2022 掲載事業一覧

基本理念 一人ひとりが互いを尊重し合い心豊かに暮らせるまち弘前

基本目標 1 すべての人が活躍できる社会の実現に向けて

※ は再掲事業

重点目標	施策の方向	No	事業名	担当課	評価	
1 政策・方針決定 過程への女性の 参画拡大	1 審議会等への女性の参画拡大	1	弘前市附属機関の設置及び運営に関する指針	人事課	A	
	2 市女性職員の管理職への登用促進	2	職員研修事業	人事課	A	
		3	人事評価制度	人事課	A	
		4	庁内F A制度	人事課	A	
		5	組織体制の適正化	人事課	A	
2 女性の人材活用 とエンパワーメン ト支援	1 女性の人材に関する情報収集と情報提供	6	国、県やその他と連携した女性人材情報の収集と提供	企画課	A	
	2 女性のエンパワーメント支援の促進	7	ロールモデルとなる地域の女性人材の発掘	企画課	A	
		8	hirosaki smart project 女性活躍推進異業種交流会	企画課	A	
3 仕事と生活の調 和（ワーク・ラ イフ・バラン ス）の推進	1 ワーク・ライフ・バランス支援の取組促進	9	ワーク・ライフ・バランス啓発事業	こども家庭課	A	
		10	多様な働き方への環境整備	人事課	A	
		11	身近なロールモデルづくり	人事課	A	
		12	多様な働き方への環境整備【No.10再掲】	人事課	A	
		13	人口減少対策に係る企業認定制度（子育て応援企業）	こども家庭課	A	
	2 多様なライフスタイルに合わせた就業・起業支援	14	若年者と女性のための資格取得支援事業	商工労政課	A	
		15	創業・起業支援拠点運営事業	産業育成課	A	
	3 子育てを支援する環境の整備	16 保育所運営費	17	認定こども園等給付費	こども家庭課	A
			18	特別保育事業（一時預かり、延長保育）	こども家庭課	A
			19	障がい児保育事業	こども家庭課	A
			20	病児病後児保育事業	こども家庭課	A
			21	子育て短期支援事業	こども家庭課	A
			22	放課後児童健全育成事業	こども家庭課	A
			23	児童館延長利用事業	こども家庭課	A
			24	保育料の軽減	こども家庭課	A
			25	障がい児幼児教育事業	学務健康課	A
			26	私立幼稚園教材費補助事業	学務健康課	A
			27	地域子育て支援センター事業	こども家庭課	A
			28	駅前こどもの広場運営事業	こども家庭課	A
			29	子育てサポートシステム運営事業	企画課	A
			4 介護を支援する環境の整備	30 高齢者健康トレーニング教室	31	高齢者ふれあい居場所づくり事業
	32	自立支援介護の推進			介護福祉課	A
	33	介護予防普及啓発事業			介護福祉課	A
	34	包括的支援事業			介護福祉課	A

■弘前市男女共同参画プラン2018～2022 掲載事業一覧

基本理念 一人ひとりが互いを尊重し合い心豊かに暮らせるまち弘前

基本目標 1 すべての人が活躍できる社会の実現に向けて

※ は再掲事業

重点目標	施策の方向	No	事業名	担当課	評価
4 雇用等における 男女共同参画の 推進	1 女性の雇用拡大と雇用 環境の改善	35	地元企業人材獲得支援事業	商工労政課	B
		36	大学・企業連携地元就職推進事業	商工労政課	A
		37	未来の弘前を支える人づくり支援事業	商工労政課	A
		38	若年者と女性のための資格取得支援事業 【No.14再掲】	商工労政課	A
		39	雇用状況等調査・要請事業	商工労政課	A
	2 企業等における女性の 活躍推進	40	人口減少対策に係る企業認定制度 (女性活躍推進企業)	企画課	A
5 農業等における 男女共同参画の 推進	1 農業における男女共同 参画に向けた取組への 支援	41	家族経営協定締結支援事業	農業委員会事務局	A
		42	農業経営力向上支援事業	農政課	A
		43	農業次世代人材投資事業(経営開始型)	農政課	A
		44	人・農地問題解決加速化支援事業	農政課	A
		45	りんご産業新規人材育成事業 (りんご産業イノベーション戦略推進事業)	農政課	A

■ 基本目標Ⅱ すべての人が安心して暮らせる社会の実現に向けて

《成果目標》

項目	現状 (基準年)	進捗 (時点年)	成果目標 (目標年)
(ひろさき生活・仕事応援センターにて) 相談支援から就労に結びついた人数	75人 (2017年)	105人 (2018年)	100人 (2022年)
生活困窮世帯等を対象とする学習支援事業の参加児童・生徒数(延べ人数)	247人 (2016年)	160人 (2018年)	450人 (2022年)
市、地域団体等が行う健康講座の参加者数(延べ)	25,532人 (2016年)	33,685人 (2018年)	27,063人 (2022年)

《評価の結果》 A：予定(計画)どおり実施、B：おおむね予定(計画)どおり実施、C：予定(計画)どおり実施できなかった

平成30年度実施事業	A評価	B評価	C評価
項目数	76	18	4

《懇話会委員からの意見や質疑、及び対応等(○：意見・質問、●：対応等)》

<p><主な意見と対応等></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 審議会や各会議などの女性の比率を高めることは重要であるが、大事なのは男性であれ女性であれ、多面的に議論できること。女性比率の数値だけにとらわれず、多面的な議論が行われているかどうかについて評価してはどうか。 ● 評価理由の表現を修正した。 ○ 母子家庭の母親等に関する資格取得のための給付金事業について、なぜ看護師の支援なのか。 ● 就業・就職の際に有利になる資格で、取得のために1年以上養成機関で修業する場合には、修業期間中の生活の負担軽減を図る国の事業として実施している。市では看護師、准看護師、介護福祉士、保育士、作業療法士、理学療法士が対象。 <p><その他の意見等></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 法人後見制度や民生委員など、担い手が不足している。民生委員も高齢化が進行している中、持続的な制度設計を進めてほしい。 ○ 参加者が少なくC評価となった市民講座事業について、周知方法に工夫が必要なのか、そもそも事業の需要が少ないのか、来年度に向けて検討してほしい。 ○ たばこの健康被害防止対策に取り組んでいる中で女性の喫煙率が増加したことは残念。 ○ 新プランで性的マイノリティについて初めて記載し、取組を進めているが、プランに具体的な事業が載っていないため、評価されない。来年度に向けて、積極的に発信してもいいのではないかと。また、理解を深めるためには、学校教育や先生方に対する取組も必要。

■弘前市男女共同参画プラン2018～2022 掲載事業一覧

基本理念 一人ひとりが互いを尊重し合い心豊かに暮らせるまち弘前

基本目標 II すべての人が安心して暮らせる社会の実現に向けて

※ は再掲事業

重点目標	施策の方向	No	事業名	担当課	評価
6 生活上の困難に 直面する人への 支援	1 ひとり親家庭の生活安定への支援	46	母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業	こども家庭課	A
		47	みなし寡婦（夫）控除適用によるシングルマザー等支援策	こども家庭課	A
		48	家庭児童相談事業	こども家庭課	A
		49	母子寡婦相談事業	こども家庭課	A
		50	児童扶養手当の支給	こども家庭課	B
		51	ひとり親家庭等医療費給付事業	こども家庭課	B
		52	小児インフルエンザ・おたふくかぜ予防接種費用助成事業	健康増進課	A
	2 高齢者、障がい者、性的マイノリティ、外国人等が安心して暮らせる環境整備	53	弘前型基幹相談支援体制構築事業	障がい福祉課	A
		54	ひろさき子どもの発達支援事業	障がい福祉課	A
		55	権利擁護推進体制強化事業	福祉総務課	A
		56	就労移行支援事業	障がい福祉課	A
		57	就労定着支援事業	障がい福祉課	C
		58	就労継続支援事業	障がい福祉課	A
		59	hug workプロジェクト	障がい福祉課	A
		60	障がい者雇用奨励金	商工労政課	A
		61	ピュアフレンズ支援事業	生涯学習課	A
		62	インクルーシブ教育システム推進事業	教育センター	A
		63	特別支援教育支援員配置事業	教育総務課	A
		64	障がい者スポーツ支援事業費補助金	文化スポーツ課	A
		65	高齢者健康トレーニング教室【No.30再掲】	介護福祉課	A
		66	高齢者ふれあい居場所づくり事業【No.31再掲】	介護福祉課	A
		67	自立支援介護の推進【No.32再掲】	介護福祉課	A
		68	介護予防普及啓発事業【No.33再掲】	介護福祉課	A
		69	包括的支援事業【No.34再掲】	介護福祉課	A
		70	老人クラブ運営費補助金	介護福祉課	A
		71	高齢者ふれあい居場所づくり事業【No.31・66再掲】	介護福祉課	A
		72	敬老大会事業	介護福祉課	A
		73	健康・生きがいづくり推進事業	介護福祉課	A
		74	弘前市シルバー人材センター運営費補助金	福祉総務課	A
		75	包括的支援事業【No.34・69再掲】	介護福祉課	A
76	認知症支援事業	介護福祉課	A		
77	安全安心見守りネットワーク事業	介護福祉課	A		
78	民生委員活動支援事業	福祉総務課	B		
79	ほのぼのコミュニティ21推進事業	福祉総務課	B		
80	権利擁護推進体制強化事業【No.55再掲】	福祉総務課	A		

■弘前市男女共同参画プラン2018～2022 掲載事業一覧

基本理念 一人ひとりが互いを尊重し合い心豊かに暮らせるまち弘前

基本目標 II すべての人が安心して暮らせる社会の実現に向けて

※ は再掲事業

重点目標	施策の方向	No	事業名	担当課	評価
		81	地域まち育て活動推進事業	都市計画課	C
		82	国際人育成支援事業	文化スポーツ課	A
		83	中学生国際交流学习事業	学校指導課	A
		84	英語教育推進事業	学校指導課	A
		85	外国語活動支援員派遣事業	学校指導課	A
		86	国際交流事業	文化スポーツ課	A
		87	市民講座事業（中央公民館）	生涯学習課	C
		88	自立相談支援事業	生活福祉課	A
		89	家計改善支援事業	生活福祉課	A
		90	就労準備支援事業	生活福祉課	A
		91	生活困窮者無料職業紹介事業	生活福祉課	A
		92	学習支援事業	生活福祉課	A
		93	弘前市シルバー人材センター運営費補助金【No.74再掲】	福祉総務課	A
		94	各種セミナーの実施	企画課	A
		95	教育センター相談支援チーム	教育センター	A
		96	子ども悩み相談電話	教育センター	B
		97	教職員に対する性教育研修講座の実施	学校指導課	A
		98	ひとにやさしい社会推進セミナー	企画課	B
7 男女共同参画の 視点を踏まえた 地域活動、環境 保全活動	1 地域課題の解決に向けた取組への支援	99	市民参加型まちづくり1%システム支援事業	市民協働課	A
		100	エリア担当制度	市民協働課	A
		101	ボランティア支援事業	市民協働課	A
	2 環境分野における男女共同参画の推進	102	弘前市廃棄物減量等推進審議会の委員に占める女性委員の割合増加	環境課	A
		103	ひろさき環境パートナーシップ21の支援等	環境課	A
		104	稲わら等の焼却防止と有効利用の推進	農政課	A
		105	こどもの環境教育推進事業	環境課	A
		106	河川清掃美化運動	環境課	A
		107	町会雪置き場事業	道路維持課	A
		108	地域除雪活動支援事業	道路維持課	A
109	町会等除雪報奨金	道路維持課	A		
110	小型除雪機更新、購入事業	道路維持課	A		
8 女性に対するあらゆる暴力の根絶	1 暴力防止のための環境づくり	111	（女性に対する暴力防止）関係団体との連携による意識啓発及び対応	こども家庭課	B
		112	LED防犯灯整備管理事業	市民協働課	A
		113	防犯カメラ維持管理事業	市民協働課	A
		114	青色回転灯防犯車両パトロール事業	市民協働課	A
	2 暴力被害者からの相談対応の充実	115	女性相談員による相談受付の実施	こども家庭課	B
		116	セミナー等によるDVに関する正しい理解の促進	こども家庭課	B

■弘前市男女共同参画プラン2018～2022 掲載事業一覧

基本理念 一人ひとりが互いを尊重し合い心豊かに暮らせるまち弘前

基本目標 II すべての人が安心して暮らせる社会の実現に向けて

※ は再掲事業

重点目標	施策の方向	No	事業名	担当課	評価
9 生涯を通じた健康支援	1 生涯を通じた健康支援	117	20・30代健診	健康増進課	A
		118	30歳節目歯科健康診査	健康増進課	A
		119	マタニティ歯科健康診査	健康増進課	A
		120	後期高齢者健診受託事業	国保年金課	A
		121	特定健康診査	国保年金課	A
		122	特定保健指導	国保年金課	A
		123	高齢者健康トレーニング教室 【No.30・65再掲】	介護福祉課	A
		124	介護予防普及啓発事業【No.33・68再掲】	介護福祉課	A
		125	ひろさき健幸増進リーダー活動支援事業	健康増進課	A
		126	栄養・食生活改善推進事業	健康増進課	B
		127	岩木健康増進プロジェクト推進事業	健康増進課	B
		128	相馬地区まるごと健康塾	相馬総合支所民生課	A
		129	弘前市健康づくりサポーター制度	健康増進課	A
		130	ひろさき健やか企業認定制度	健康増進課	B
		131	健康教育推進事業	学務健康課	A
		132	がん検診受診率向上強化対策事業	健康増進課	C
		133	胃がんリスク検診事業	健康増進課	B
		134	中学生ピロリ菌検査事業	健康増進課	B
		135	大腸がん検診無料クーポン事業	健康増進課	B
		136	30歳節目歯科健康診査【No.118再掲】	健康増進課	A
		137	いきいき健診事業	福祉総務課	A
		138	たばこの健康被害防止対策事業	健康増進課	B
		139	いきいき健診事業【No.137再掲】	福祉総務課	A
		140	「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」の 理解・普及	企画課	B
	2 健康意識の向上と自殺 予防への取組	141	市民の健康まつり	健康増進課	A
		142	こころの健康づくり事業	健康増進課	A
		143	健康相談	健康増進課	B

■ 基本目標Ⅲ 男女共同参画社会の実現に向けて

《成果目標》

項目	現状 (基準年)	進捗 (時点年)	成果目標 (目標年)
性別による固定的役割分担の考え方に同意しない市民の割合	54.5% (2017年)	55.6% (2018年)	57.0% (2022年)
弘前市民参画センターが実施したセミナー等事業の参加者数	908人 (2016年)	966人 (2018年)	962人 (2022年)
女性の防災マイスター認定者数と女性消防団員数(累計)	70人 (2016年)	87人 (2018年)	153人 (2022年)

《評価の結果》 A：予定(計画)どおり実施、B：おおむね予定(計画)どおり実施、C：予定(計画)どおり実施できなかった

平成30年度実施事業	A評価	B評価	C評価
項目数	12	8	0

《懇話会委員からの意見や質疑、及び対応等(○：意見・質問、●：対応等)》

<p><主な意見と対応等></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 成果目標の性別による固定的役割分担の考え方については、「男は仕事、女は家庭」という問い方自体が実態に合わなくなってきているのではないかと。 ● わかりやすいという年齢層もあると考える。国の調査でも同様の文言となっており、継続して実施している。 ○ 女性防災マイスターの累計認定数が増えており、高評価としてもいいのではないかと。 ● 指摘のとおり評価を修正した。 <p><その他の意見等></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広報や参画だよりなどの紙媒体による広報活動とともに、テレビメディアやYouTube、twitterなどのインターネットコンテンツも活用して効果的な広報を検討してほしい。

■弘前市男女共同参画プラン2018～2022 掲載事業一覧

基本理念 一人ひとりが互いを尊重し合い心豊かに暮らせるまち弘前

基本目標 III 男女共同参画社会の実現に向けて

※ は再掲事業

重点目標	施策の方向	No	事業名	担当課	評価
1 0 男女共同参画社会形成に向けた社会制度・慣行の見直し、意識の改革	1 男女共同参画社会形成にかかる理解促進	144	弘前市民参画センター管理運営事業	市民協働課	A
		145	ひとにやさしい社会推進セミナー【No.98再掲】	企画課	B
		146	広報ひろさきへの定期的な啓発記事の掲載	企画課	B
		147	弘前市出前講座「男女共同参画社会」の実施	企画課	B
		148	男女共同参画情報誌「参画だより」の発行	企画課	A
	2 男性にとっての男女共同参画	149	ひとにやさしい社会推進セミナー【No.98・145再掲】	企画課	B
		150	多様な働き方への環境整備【No.10・12再掲】	人事課	A
		151	身近なロールモデルづくり【No.11再掲】	人事課	A
	3 男女共同参画に関する意識調査	152	男女共同参画に関する定期的な意識調査の実施	企画課	B
1 1 教育、メディアを通じた理解の促進	1 学校等における男女共同参画の理解促進	153	校内研修支援訪問	学校指導課	A
		154	弘前市教育委員会教職員研修・講座	学校指導課	A
		155	「子どもの声・意識調査」に基づく魅力ある学校づくり事業	学校指導課	A
		156	心の教室相談員配置事業	教育センター	A
		157	「子どもの笑顔を広げる弘前市民条例」啓発事業	学校指導課	B
	2 メディアを通じた男女共同参画の推進	158	弘前記者会加盟各社への積極的な情報提供	企画課	A
		159	市の刊行物、広報誌への表現に対する注意	企画課	A
1 2 男女共同参画の視点に立った防災対策	1 防災分野における男女共同参画の推進	160	弘前市防災会議の委員に占める女性委員の割合増加	防災課	A
		161	自主防災組織等育成支援事業	防災課	B
		162	防災まちづくり推進事業	防災課	A
		163	女性消防団員数の増加	防災課	B